

同窓会を兼ねた成人式

いなべ市長 日沖 靖

今年も、いなべ市の成人式は新成人自らの手で行われ、まさに「新成人の、新成人による、新成人のための成人式」でした。中学校単位の4会場に分かれ、前半は式典、後半は思い出ビデオが上映されました。また中学校の恩師も出席され、同窓会のような心温まる成人式でした。

いなべ市で生まれ育った方の多くがこの地を生涯の生活の拠点とされ、私の同窓生も、今でも同じ中学校校区に約半数が在住し、互いに励ましあう良き友人として交流を深めています。この地は自然に恵まれ、働く所が多く、かつ持ち家率も高いことから、住みやすい環境にあるのかもしれませんが。

この成人式は中学を卒業して5年ぶりに再会する同窓会でもあります。進む道は違っていても、困った時は支え合える生涯の友として新たな絆が生まれたことでしょう。同窓会を兼ねた成人式、「会場を一つにしては」とのご意見も賜りますが、同窓会と思えば4会場が自然なようにも思えます。

いずれにせよ、主役は新成人、素晴らしい成人式を運営いただきました実行委員の皆さんに心より感謝申し上げます。

新成人と(藤原会場) ▶



めざましいなべ通!!

いなべ検定入門6

なつかしの歳時記 2月 代参

2月のいなべ市は、鈴鹿の山が雪化粧し、里にも雪が舞い散る寒い日が続きます。そんな寒いこの時期、今でもところによ



藤原町藤田権一さん所有の写真

っては続いている行事があります。今では珍しくなったこの代参行事ですが、昔はどこの地区でも行われていました。特に、代参迎えは地区の人たちが伊勢音頭で出迎え、神社で土産を配り、夜は懇親会をしていました。地区には常夜燈があり、「村内安全」「五穀成就」と書かれていて、江戸時代から「地区がまとまる」とか「助け合う」という意味が含まれていました。

代参とは？

その名のとおりに、地区の人たちの代表として伊勢神宮にお参りすることをいいます。

情報提供者：ふるさと・いなべ市の語り部
伊藤 忠さん・藤井樹巳さん

数に学べ! 6

— 統計にみるいなべ —

平成17年10月に行われた『国勢調査』をみなさんは覚えていますか。この国勢調査の第1回目は、なんと大正9年(1920年)に行われています。

それでは、いなべ市の第1回目の国勢調査での総人口はいったい何人だったでしょう。

- 阿下喜村...1,992人
- 治田村...2,697人
- 十社村...3,425人
- 山郷村...1,955人
- 笠田村...1,962人
- 大泉原村...2,003人
- 大泉村...1,378人
- 梅戸井村...3,211人
- 三里村...1,135人
- 石樽村...3,258人
- 丹生川村...1,776人
- 東藤原村...1,292人
- 西藤原村...1,046人
- 白瀬村...1,782人
- 立田村...737人
- 中里村...2,425人

大正9年総人口 国勢調査より

第1回の国勢調査は、計画から実施まで、長い年月が費やされました。それだけに内閣から任命された26万人もの調査員をはじめとする当時の統計関係者はもちろんのこと、国民も「文明の仲間入り」を合言葉に、各地で名士による講演会、新聞の華々しい報道、旗行列、花電車、さらにチンドン屋までが広報に活躍したということです。また、調査の日時である10月1日午前零時の前後には、各地で、サイレンや大砲が鳴り、お寺やお宮では、鐘、太鼓を鳴らし、文字通り鳴り物入りの「国を挙げての一大行事」となったようです。

答え：32,074人

〔 員弁庁舎 広報情報課 T 74-5819 F 74-5822 〕